

イバティブ 製品開発

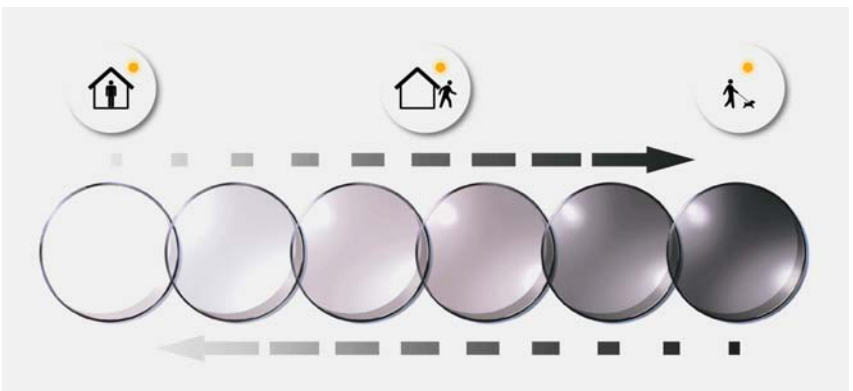
Innovative Product Development

強度・調光性能を両立

⑥

三井化学

チオウレタン系高屈折率レンズ材料

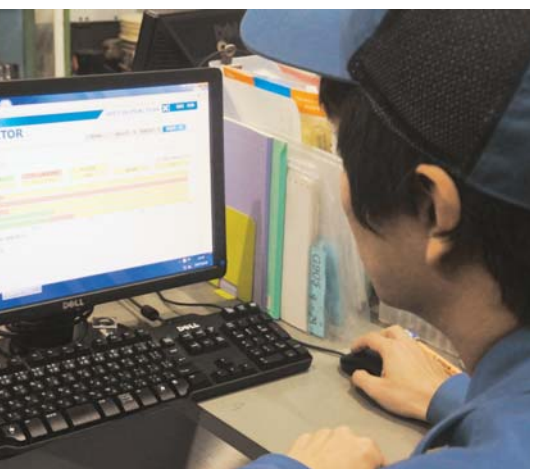


彼我の差を語る。

今回新たに、チオウレタン系素材で屈折率1・60と同一・67の調光レンズ材料を開発した。チオウレタン系素材では、トップメーカーとして、独自の技術・ノウハウを多く持つ。河戸主席研究員は「屈折率と強度では、チオウレタンが圧倒的に強いという特徴があり、そこは生かしたい。ただ、一般的にチオウレタンのような硬い素材の中で、色素

開発した高屈折の調光レンズ材料「サンセンサーズMRシリーズ」の構造を自由に变化させることは難しい」と開発の苦労を明かす。

色素の構造変化に問題があると、屋外から屋内への移動時に調光速度が遅くなり、屋内でも一定時間サンングラスのままで過酷なことになるかねない。研究の末に「テクノロジー技術を加えた独自の分散技術により、チオウレタン系素材中で調光色素を理想的に構造変化させることができた」（河戸主席研究員）と技術の壁を突破した。



三井化学は2014年に米コーニングから「サンセンサーズMRシリーズ」のアクリル素材の中屈折率調光レンズ事業を買収。商品ラインアップを拡充してきた。日本市場の開拓は今後の課題だ。

岩住チムリーダーは「日本の環境や意識が変わってきた時期だ。これからマーケティング活動を強化していきたい」と視線を先にする。

（鈴木岳志）

航空機やロケットの中・小型部品を手がける熱田起業（名古屋市中川区、矢野昭明社長、052・365・8038）は、工作機械の稼働状況をリアルタイムで把握できるシステムを導入した。オートマが顧客に提供するシステム「コネクティブ」がベースで、「見える化」にとどまらず、分析して稼働率を改善したのが特徴だ。

「ベテランや若手が互いに助け合い、コミュニケーションを深められ

た。そうすると、時間がかる人を指導しようとなるが、矢野社長は「個人を責めるためではない」と前置きし、「現状を把握して改善を考えることが大切」と指摘する。

稼働時間について、皆で話し合うと、共有の測定器や工具を取りに行く時間がかかっていることに気づいた。それらが工場の端にあり、動線が長くなっていた。工場が長くなっていた。移動時間を短くできた。

こうした工夫により、工作機械の平均稼働率が、システム導入時の20%から36%に高まった。今後も、加工材料置き場や工具棚で、より短時間に取っ出せるように陳列方法を改善する計画だ。

稼働状況見える化 改善ツールに

システム導入にあたっては、社員にその目的を丁寧に説明した。監視のためではないと社員が理解したことで、改善が進んだ。社員の気持ちを大事にすることが、IoT（モノのインターネット）活用には不可欠といえる。

（名古屋・戸村智幸）

改善につなげるため、まず把握したのが、作業台ごとの稼取り時間の個人差だ。ある機種で同じ加工をしていても、人によってかかる時間が違う。各自の稼取り時間が分かってくる。

▲工作機械の機種別の稼働状況を視覚的に把握できる。

鋼管や建設機械向け部品などのプレス加工、厚板精密曲げ加工などを手がける富田製作所（茨城県古河市、富田英雄社長、0280・98・3376）。プレス機は加圧能力が最小で30トンから世界最大級の1万6000トンのものまで幅広く取りそろえ、社内一貫生産で顧客の要望に応える。その現場を支える人材に関する取り組みを富田社長に聞いた。

―厚板精密板金の会。07年に羽田空港。現在の仕事や人材の状況は。

杭、08年に東京スカイツリー用鋼管の製造を受注するなど、大規模な建設機械メーカー向けの部品の製造が4割で、



富田製作所社長 富田 英雄氏

挑む

モノづくり ヒトづくり

スキルマップで技能底上げ

残りは土木、建築、重電、造船などさまざまな分野の160人強の社員のうち、3分の2ほどの新卒採用を継続している。

―100人以上いる作業者の技能底上げの工夫は。

「技術面の評価を、作業者ごとにスキルマップとして作成している。担当現場ごとのチームリーダーが、3か月に1度、細分化した各技術項目について3段階で評価する。評価が良かった項目について、その理由を、チームリーダー以上の役職者が参加する年4回の社内会議で報告する。それにより、1現場での良好事例を社内全体で共有している。スキルマップの内容は人事評価



1万6000トプレス機で鋼管などを加工する

他社ができない仕事で存在感

常に先手の設備投資

常に先手を取る積極的な設備投資をし、他社ができない仕事をたぐり寄せる。これを続けるには、現場の仕事の質が伴わなければならない。作業者に高い技能水準を日頃から意識させるため、新人にベテラン作業者の技術を伝える時間を設けている。「トップレベルの技術を見せ、同じ作業を体験してもらおう。トップとの『差』を感じさせ、主体的な上昇志向を芽生えさせている」と富田英雄社長。『板金世界』をを目指す同社の歩みに今後も目が離せない。

ポイント

の材料にもしている。正当に評価することでモチベーションの向上につなげている」。

―社員の主体性を高めるために取り組んでいることは。

「若手技術者の多いつくば工場（茨城県下妻市）で、全社員に『改善ノート』を書かせている。若手によ

職人の技を見せ、必要な情報を伝える。その後若手に実践させ、できたことできなかったこと、できなかった理由や改善策などを考えてもらい、記録させる。これをチームリーダーなどが評価し、振り返り方や問題意識の持ち方を身につけさせている」。

「モノづくり」連載企画は曜日替わりです

あす金曜日は『販売・サービス』……「変わるマーケティング」「新分野に売って出る」「CS新時代」

企業映像制作
承ります。

映像を ビジネスツール に使いませんか？

映像から自社のイメージアップを私共、映像制作会社キッズは映画から企業VP、CMと幅広い映像制作を行っています。

映像制作内容

- ・企業紹介ビデオ [DVD]
- ・企業社史ビデオ [DVD]
- ・新製品紹介ビデオ [DVD]
- ・新入社員募集ビデオ [DVD]
- ・記念事業用ビデオ [DVD]
- ・その他様々なイベント映像制作から教育ビデオ、取り扱いビデオ、マニュアルビデオまで全ての映像を

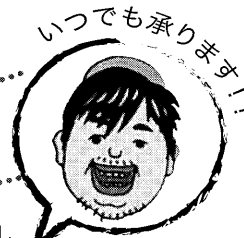
これまでのキッズ制作一例作品

- ・キッコマン企業ビデオ
- ・モノづくりツアー（ドキュメント）
- ・アイダ記念事業ビデオ
- ・セーコン物語（夢をこの手で）

有名タレント使用、モデル、ノンタレントや最新のコンピュータグラフィックスを用いた新新映像まで、様々な企画内容にあわせて企画から撮影、編集、音楽と全て自社制作を行います。



制作内容及び費用のお問い合わせは？



株式会社 キッズ 〒135-0046 東京都江東区牡丹3-25-8 キッズビル
TEL 03-5621-6622 / 03-5621-6632 FAX 03-5621-6616 MAIL takizawa@kidsboys.com

http://www.kidsboys.com/

キッズ制作責任者 瀧澤正治

夢をこの手で

情熱紀行
新ものづくり発見ツアー

味覚は時代をこえて
キッコマン本舗ようちん
（仮称）
製造工程の映像記録

ALDA

kids